

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県東海市 県北西部地域医療センター-国保白鳥病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
43,306	7,393	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

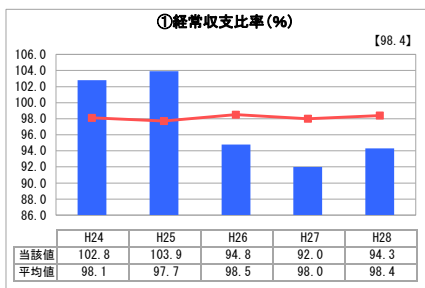
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	4
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	64
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
58	-	58

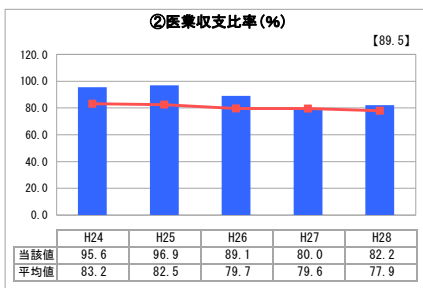
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

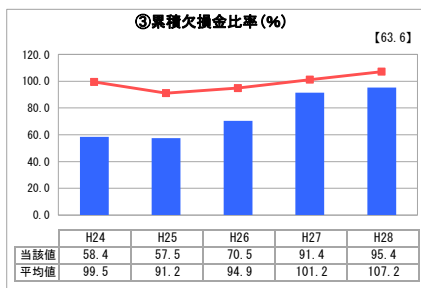
1. 経営の健全性・効率性



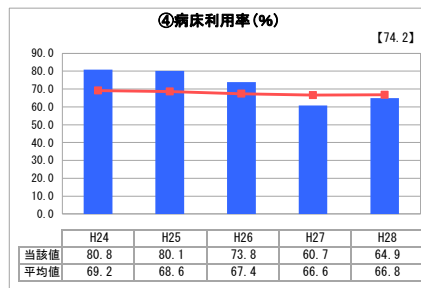
「経常損益」



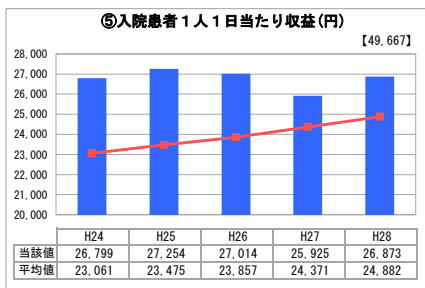
「医業損益」



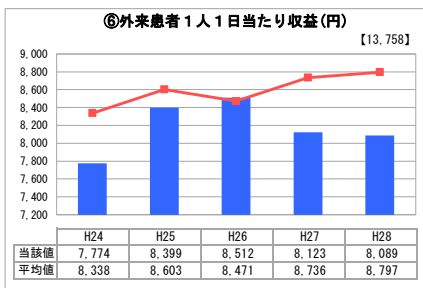
「累積欠損」



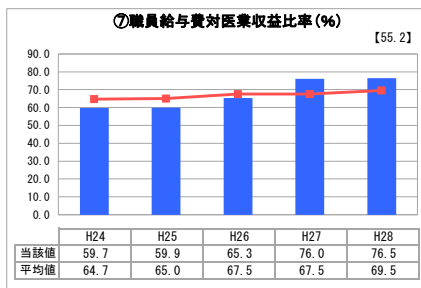
「施設の効率性」



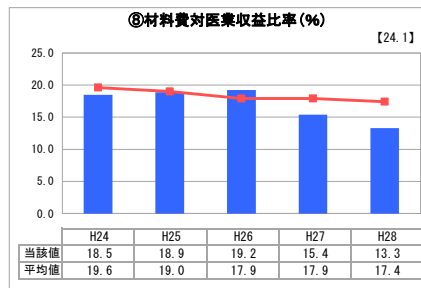
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

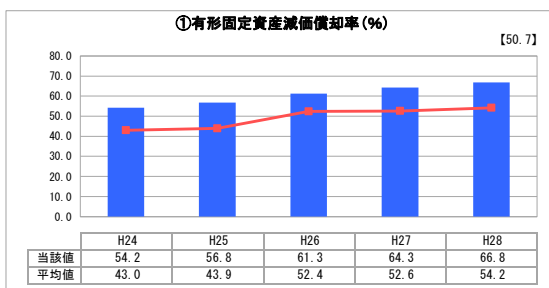


「費用の効率性①」

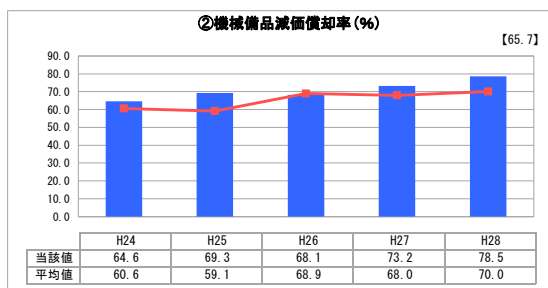


「費用の効率性②」

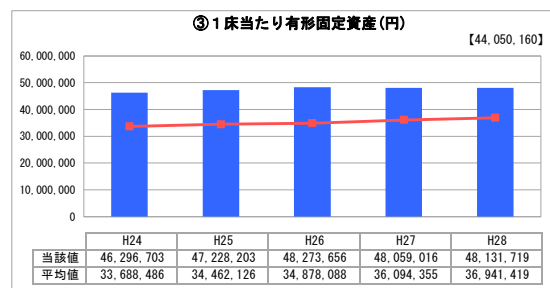
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

市北部地域の入院を主とした2次医療を高度医療提供病院との連携及び近隣民間病院との機能分担により担うとともに、当院と市内4診療所及び白川村2診療所、高山市荘川診療所が連携する「県北西部地域医療センター」の基幹病院として、へき地医療支援の中心的な役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支率は94.3%となり、前年度比2.3ポイント改善しましたが、平均値を4.1ポイント下回る結果となりました。これは、平成27年度から、医師の高齢化により外科及び整形外科の大きな手術を行わなくなったことによる診療単価の減少、また、病床利用率や外来患者の減少によるのが主な要因となっています。職員給与費対医業収益率が平均を7ポイント上回る結果となりました。これは、病床数に見合う職員配置による経費が生じているにもかかわらず、それに相対する診療収入が得られていないことが主な要因となっています。入院患者1人1日当たりの収益については、平均値を1,991円上回る結果となりました。これは1月に地域包括ケア病床の導入による診療単価の増加が主な原因となっています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産原価償却率、機械備品原価償却率ともに平均値を上回っており、老朽化が進んでいます。しかし、1床当たり有形固定資産については、平均値を7,190,300円上回っています。今後、耐用年数の到来を見据えた計画的な施設整備を進めていく必要があります。

全体総括

平成26年度から新公営企業会計制度の適用により、みなし償却の廃止や引当金の計上義務付けなどにより建物・医療器械等の償却額が高額となっています。また、人口減少による受診者数の減少や診療報酬改正による影響及び長期投薬の定着により外来患者の受診回数が減少し、診療収入の減収につながっています。今後、地域包括ケア病床の増床や在宅医療部門の強化により収入増を図り健全運営の確保に向けて取り組みます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。